



〔新版〕民事訴訟の実務

著／菊地博（弁護士）

A5判 548頁

2004年7月発刊

概要

- 民事訴訟の基本概念から各論にいたるまで、身近な具体的事例を引き合いに出しながら、理論と実務の両面からわかりやすく解説してあるので理解が容易です。
- 訴訟の過程において必要な各種の訴状、答弁書、申請書、申立書、判決文などの文例を数多く掲載。それぞれに〈作成上の留意点〉〈作成上の諸手続〉〈参考判例〉などの、きわめてわかりやすく、あらゆるケースを想定した具体的で詳細な注意書が付してあるので、書類作成の際にたいへん便利です。

執筆者プロフィール（発行時）

菊地 博（きくち ひろし）

福井市出身、中央大学法学部中退、昭和23年11月高等試験司法科合格、長崎・横浜・新潟・神戸・大阪・名古屋・高松等の各地方裁判所・高等裁判所の裁判官を経て金沢家庭裁判所長を最後に昭和61年10月退官、直ちに朝日大学法学部教授に迎えられ、平成10年4月から同大学名誉教授、その間朝日大学企業法律相談所長・大学図書館長・評議員、神戸大学・関西学院大学法学部講師、名古屋自由学院理事・評議員・裁判所調停委員・参与員、穂積町土地開発公社・管理公社理事、同町情報公開審査委員等に就任。昭和62年弁護士登録。平成13年から厚生労働省の紛議調整委員。勲二等瑞宝章授与（平成3年11月）。

目次

第1編 序論

- ◆序章 民事裁判と紛争の予防
- 第1節 紛争と裁判
- 第2節 紛争の予防方法と救済方法
 - 1 契約書と遺言書
 - 書式例
 - 不動産売買契約書
 - 借家契約書
 - 自筆証書遺言書
 - 2 公正証書
 - 3 和解調書
 - 4 仲裁手続
 - 書式例
 - 裁定書
 - 仲裁判断書
 - 5 調停

第2編 民事訴訟法による手続

- ◆第1章 裁判所
- 第1節 三権分立
- 第2節 裁判権
- 第3節 裁判所の種類
- 第4節 裁判所の職員
- 第5節 裁判所における事件の分配、職員の除斥、忌避、回避
 - 1 除斥
 - 2 忌避
 - 3 回避

第6節 管轄

- 1 職分管轄
- 2 事物管轄
- 3 土地管轄、普通裁判籍
- 4 特別裁判籍
- 5 牽連裁判籍
- 6 合意管轄
 - 書式例
 - 管轄合意書
- 7 応訴管轄
- 8 管轄の指定
- 9 専属管轄
- 10 移送

◆第2章 訴訟の開始

- 第1節 当事者
- 第2節 当事者能力
- 第3節 訴訟能力
- 第4節 訴訟代理人
 - 1 訴訟代理人の意味
 - 2 訴訟代理権の範囲
- 第5節 補佐人
- 第6節 弁論能力

◆第3章 民事訴訟手続上の基本原則

- 第1節 公開主義
- 第2節 不告不理の原則
- 第3節 双方審尋主義
- 第4節 当事者処分権主義
- 第5節 弁論主義と職権探知主義
- 第6節 口頭審理主義
- 第7節 直接審理主義